

日本学術会議 臨床医学委員会 脳とこころ分科会(第 26 期第1回)
議事録

開催日時 令和6年7月 31 日(水)20:00～21:00
開催形式 オンライン会議

出席者(36 名中 28 名出席)

出席者 青木茂樹、池田和隆、池淵恵美、伊佐正、内富庸介、大江美佐里、岡部繁男、
加藤忠史(副委員長)、北中淳子、熊谷晋一郎、齊藤延人、坂田省吾、鈴木匡子、
高橋英彦、高橋良輔(委員長)、内匠透、戸田達史、林朗子、林由起子(幹事)、
坂内博子、平山真理、藤井幸彦、古屋敷智之(幹事)、水口雅、南雅文、柚崎通介、
吉田眞理、渡辺雅彦(敬称略)

欠席者 尾崎紀夫、笠井清登、萱間真美、國井泰人、三島和夫、三村將、村井俊哉、
山脇成人(敬称略)

1. 委員長、副委員長、幹事の選出

互選により高橋良輔委員が委員長に選出された。高橋良輔委員長の指名により、副委員長には加藤忠史委員が、幹事 2 名には古屋敷智之委員、林由起子委員が選出された。

2. 今期の活動方針について

高橋良輔委員長より、第 24 期と第 25 期の脳とこころ分科会の活動状況に関して説明があった。一つの期に一つの見解を発表、年に1度程度のシンポジウムを開催している。提案があれば委員長、副委員長、幹事に連絡してほしいとの説明があった。

3. 日本学術会議の現状について

高橋良輔委員長より、第 26 期の日本学術会議の活動状況、特にアクションプランと法人化を巡る問題について、資料を用いて現状が説明された。

4. 見解「脳科学研究とその臨床応用に関わる倫理的課題」の表出について

伊佐正委員(第 25 期神経科学分科会委員長)より、見解「脳科学研究とその臨床応用に関わる倫理的課題」の表出について、見解の趣旨と内容や今後の予定が説明された。第 25 期に神経科学分科会、移植・再生医療分科会と合同で、原稿を概ね完了していた。現在、意思の表出の「申出書」及び「骨子」を、令和6年度末までに表出の予定として、科学的助言等対応委員会に提出しており、委員会の助言を踏まえて原稿を完了することとなる。今後は、執筆者に内容のアップデートを依頼し、9月半ばをめどに分科会委員や関係するステークホルダーからの意見をもとに改訂して、査読に提出する予定である。並行して、神経科学分科会、移植・再生医療分科会でも確認を進める。大きな改訂がある場合には(合同)分科会の開催を検討する。

文責 古屋敷智之